



ふれあい スポーツ

発行
一般社団法人
滋賀県障害者スポーツ協会
〒520-0807 大津市松本1-2-20
滋賀県農業教育情報センター5階
☎ 077-522-6000
FAX 077-521-8118
E-mail info@shigassk.net
URL http://www.shigassk.net

第24回全国障害者スポーツ大会

湖国の感動 未来へつなぐ

わたSHIGA輝く障スポ 2025

10月25日～27日



全国大会振り返り映像



閉会式後に行われた解団式での滋賀県選手団 (10月27日 平和堂HATOスタジアム)

令和7年10月25日から27日の3日間にわたり、「湖国の感動未来へつなぐ」のスローガンのもと、平和堂HATOスタジアム(彦根総合スポーツ公園陸上競技場)を中心に行なった全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」が開催されました。

44年ぶりに地元開催となる滋賀県からは個人競技146名、団体競技142名の計288名の選手が出席し、147名の役員と合わせ合計435名の大選手団で大会に臨みました。

ここ近年、滋賀大会を目標に強化を重ねてきた滋賀県選手団は、個人・団体の全競技に出場し、地元の盛大な応援もあり、素晴らしい活躍を見せました。

開会式当日は天候に恵まれ、秋篠宮ご夫妻の隣席のもと厳かに開会式が執り行われ、炬火の点火イベントでは、陸上競技の米谷夢奈選手と山本剛士選手の2人に加え、パリパラリンピック出場の宇田秀生選手と木村敬一選手の4名が炬火を点火しました。また選手宣誓では北川大翔選手(フットソフトボール)と繩田唯衣選手(陸上競技)が旗手の石川佳寿美選手(聴覚パレーボール)を伴い力強い宣誓を行い、会場から大きな拍手が送られました。

競技においては個人競技での活躍が目立ち、水泳で5つの大会新記録が生まれたなど好記録が続出した他、対戦競技の卓球

上競技場)を中心に行なった全国障害者スポーツ大会「わたSHIGA輝く障スポ」が開催されました。

44年ぶりに地元開催となる滋賀県からは個人競技146名、団体競技142名の計288名の選手が出席し、147名の役員と合わせ合計435名の大選手団で大会に臨みました。

ここ近年、滋賀大会を目標に強化を重ねてきた滋賀県選手団は、個人・団体の全競技に出場し、地元の盛大な応援もあり、素晴らしい活躍を見せました。

開会式当日は天候に恵まれ、秋篠宮ご夫妻の隣席のもと厳かに開会式が執り行われ、炬火の点火イベントでは、陸上競技の米谷夢奈選手と山本剛士選手の2人に加え、パリパラリンピック出場の宇田秀生選手と木村敬一選手の4名が炬火を点火しました。また選手宣誓では北川大翔選手(フットソフトボール)と繩田唯衣選手(陸上競技)が旗手の石川佳寿美選手(聴覚パ

レーボール)を伴い力強い宣誓を行い、会場から大きな拍手が送られました。

競技においては個人競技での活躍が目立ち、水泳で5つの大会新記録が生まれたなど好記録が続出した他、対戦競技の卓球

では出場全選手が入賞するなど開催県である滋賀県の実力を示す絶好の機会となりました。

一方、初出場が多くを占める団体競技では、全国大会出場連チームを相手に苦戦し、1回戦を突破できず涙を呑む競技が殆どとなりましたが、各競技とも地元チームとして奮戦し、試合は大いに盛り上がりました。このような中、聴覚障害者の男子バレーボール競技が見事に3位入賞を果たし、大会に華をそえました。

閉会式後に行われた解団式はライトアップされた国宝彦根城が夜空に輝く中、全競技の選手・役員が一堂に集い、皆の健闘を称える、まさに思い出に残る大會となりました。

結果、金87、銀53、銅34の計174個のメダルと、14個の大会新記録がありました。

来年の第25回全国障害者スポーツ大会(青の煌めきあおもり障スポ)は「翔ける未来へ文の風に乗って」をスローガンに、10月23日から26日の4日間にわたり、カクヒコグループアスレチックスタジアム(新青森県総合運動公園)を中心に行催されます。

※出場選手と成績結果の詳細については、「全障スポ選手名鑑」、「滋賀県選手団活動の記録」でご確認下さい。(お手元にない場合は当協会ホームページからご覧下さい。)

令和6年度 一般社団法人滋賀県障害者スポーツ協会事業実績

「わたSHIGA輝く障
「スポーツ」を翌年に控え、選手
の強化育成、スタッフ確保、
障害者スポーツの裾野拡大
に取り組みました。

一般会計

〔1〕役員会等の開催

協会の定款等の諸規程
に基づき役員会等を開催
しました。

- (1)社員総会 1回
- (2)理事会 2回
- (3)運営会議 3回
- (4)強化委員会 3回
- (5)専門委員会 2回
- (6)表彰選考委員会 1回

- 〔2〕第62回県大会
- ※別表のとおり
- (1)社員総会 1回
- (2)理事会 2回
- (3)運営会議 3回
- (4)強化委員会 3回
- (5)専門委員会 2回
- (6)表彰選考委員会 1回

- 〔3〕スペシャルスポーツの広場
- 県内6地域（大津地域、
湖南地域、東近江地域、湖
東地域、湖北地域、高島地
域）で計11回（台風接近
により1回中止）開催し、
参加者1,000人、ス
タッフ475人、合計1,
475人が参加されました。

- 〔4〕全国大会出場選手強化
- 練習会、候補・育成選手
合同練習会等
- 第23回全国障害者スポ
ツ大会 SAGA 2024
全障スポは、10月24日から
26日までの3日間、佐賀県
で開催され、滋賀県選手団
100人は、素晴らしい成
績をあげました。

- 〔5〕近畿ブロック
- 全国大会出場を目指す
チームが開催する練習会、
交流試合等の事業に対し補
助し、競技力強化を図った。

- 〔6〕第23回全国大会
- 選手団派遣
- 第23回全国障害者スポ
ツ大会 SAGA 2024
全障スポは、10月24日から
26日までの3日間、佐賀県
で開催され、滋賀県選手団
100人は、素晴らしい成
績をあげました。

- 〔7〕障害者スポーツ
- コーディネーターの設催
- 障害者スポーツコー
ディネーターが、障害者
施設等を訪問し、協会事
業の情報提供を行い、県
大会への参加を呼びかけ
るなど障害者スポーツの
普及を図りました。

- 〔8〕交流ボウリング
- 訪問箇所 延べ37か所
- 大会の開催
- チームが開催する練習会、
交流試合等の事業に対し補
助し、競技力強化を図った。

- 〔9〕顕彰事業
- 滋賀県障害者スポーツ協
会会長表彰を次の者に授与
しました。
- （功労賞）
林 義夫さん
小澤智美さん
熊田 繁さん
（優秀指導者賞）
森 一紘さん
西垣蘭香さん
中西健治さん
田中康雄さん

- 〔10〕国際大会祝い金
- 国際大会に出場した滋賀
県ゆかりのアスリート延べ
11人に対し祝金を支給しま
した。

平和堂HATOスタジアム
ム他

金メダル19、銀メダル16、
銅メダル12、
合計メダル獲得数47個

〔11〕障害者スポーツ啓発事業

119号 令和6年12月
120号 令和7年3月

11クラブに対し補助を
実施

②強化指定クラブ補助
2025全国障害者ス
ポーツ大会に向け、選手の
発掘・育成に取り組んだク
ラブに対し補助を実施

〔1〕競技用具、展示用パネル、
障害者スポーツ啓発の
CDや図書、ルールブッ
ク等の貸し出しを行いま
した。

〔2〕会員募集チラシの作成
ホームページページやフェイス
ブックによる発信
ホームページ年間閲覧者数
11,433件

〔3〕会報の発行
ホームページの発行
各2,900部

〔1〕競技別チャレンジスポー
ツ教室
2025年の滋賀大会
に向けたジュニア層や中
途障害者の選手発掘・育
成や指導者の資質向上を
図りました。

〔2〕生涯スポーツ振興事業
助事業

〔3〕競技スポーツ振興事業
①競技別チャレンジスポー
ツ教室
2025年の滋賀大会
に向けたジュニア層や中
途障害者の選手発掘・育
成や指導者の資質向上を
図りました。

〔4〕アドバイザー設置
障害者スポーツアドバイ
ザーを2人設置し、スペ
シャルスポーツの広場の運
営および選手の発掘、障害
者スポーツ普及のための学
校訪問、相談支援を行いま
した。

〔5〕アドバイザー設置
障害者スポーツアドバイ
ザーを2人設置し、スペ
シャルスポーツの広場の運
営および選手の発掘、障害
者スポーツ普及のための学
校訪問、相談支援を行いま
した。



昨年度の近畿地区予選（精障バレーボール）の1コマ

競技別参加者	水泳23
卓球14、ボウリング19、アーチェリーアーチェリーボウル	計58名
②選手発掘・裾野拡大のための学校訪問	
アドバイザーが学校を訪問し、将来にむけた選手発掘や障害者スポーツの裾野の拡大を目的とした情報収集や事業PRを行いました。	
訪問校数	小学校1校
中学校24校、特別支援学校	
7校	計32校
③アスリート等への大会遠征費補助	4クラブ、1個人
個人に対し補助を実施	
【4 障害者スポーツ】	
指導者養成事業	
(公財)日本パラスポーツ協会公認の初級指導員養成講習会を開催し、資格取得を進めました。	

2025 スペシャルスポーツの広場



7月5日 彦根会場（プロシードアリーナHIKONE）



12月20日 栗東会場（栗東市民体育館）

令和7年5月から令和8年3月にかけて、高島・彦根・長浜・東近江・栗東・大津の県内6地区で、「令和7年度スペシャルスポーツの広場」を開催しております。

参加者が施設入所者中心であった頃には、施設の行事として参加頂くことで、1年に1回のみのカーニバルでも1,000人を超える参加者がありました。近年の環境変化により、以前の形で参加者を集めることが難しくなり、より参加しやすい方法を求めて、複数地区で複数回開催して気軽に参加でできる事業としました。結果、毎年多くの参加者を集めしており、障害者スポーツの裾野を広げる役割

本年度は昨年同様の6地区×2回の合計12回で開催しており、各日程・会場ともに多くの方に参加して頂いております。

昨年度は台風による中止もありましたが、本年度はそのような事もなく、賑やかなイベントとして各日程とも多くの参加者を集めております。中には150名を超える会場もあるなど、今や従来の県大会に並ぶ大きな事業となっております。

このよつなかで、昨年に於ける開催は米原市が自主開催のスポーツ広場を行われるなど、

市町による自主開催の動きもあり、今後障害者スポーツ入門事業として広がっていくものと考えております。また県大会と異なり、事業が始まると参加者と運営者の線引きが殆どなく、バスケットボールや地域のスポーツ推進委員等も一緒にスポーツを楽しんで頂いており、どの会場も和やかな雰囲気の中で事業を楽しんで頂いております。障害者がスポーツに親しむきっかけ作りとして、気軽に参加できる内容で取り組んでおりますので、今後多くの皆さんのが参加をお

令和7年度 スペシャルスポーツの広場 実績・予定

地域	開催日	会場	参加人数 (本人・介助者等)	備考
高島市	5月17日	安曇川総合体育館	64	
	3月21日	”	募集中	
彦根市	7月5日	プロシードアリーナ	163	
	8月2日	”	148	
長浜市	7月26日	湖北THGアリーナ	115	
	8月23日	”	86	
東近江市	9月13日	布引体育館	160	
	3月7日	”	募集中	
栗東市	12月20日	栗東市民体育館	161	
	2月7日	”	募集中	
大津市	1月10日	皇子が丘体育館	94	
	2月21日	”	募集中	

令和6年度(一社)滋賀県障害者スポーツ協会 決算

正味財産増減計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	9,383	124	9,259
特定資産運用益	5,059	160	4,899
特定資産受取利息			
受取会費			
正会員受取会費	541,000	528,000	13,000
賛助会員受取会費	2,453,000	2,154,000	299,000
クラブ会費	55,000	55,000	0
受取会費計	3,049,000	2,737,000	312,000
事業収益			
委託金	38,434,757	26,846,149	11,588,608
交付金	10,000,000	9,434,000	566,000
事業収益計	48,434,757	36,280,149	12,154,608
受取補助金等			
受取地方公共団体補助金	31,238,489	30,955,962	282,527
受取寄付金			
受取寄付金	20,000	0	20,000
雑収益			
参加料収益	3,000	1,000	2,000
雑収益	0	9,900	△ 9,900
雑収益計	3,000	10,900	△ 7,900
経常収益計	82,759,688	69,984,295	12,775,393
(2) 経常費用			
事業費			
給与等	4,200,000	4,080,000	120,000
職員手当	1,094,597	1,131,410	△ 36,813
共済費	895,869	870,417	25,452
報償費	3,022,510	2,371,613	650,897
減価償却費	63,983	0	63,983
旅費	16,411,842	10,347,712	6,064,130
食糧費	661,754	410,490	251,264
その他需用費	5,879,190	3,535,381	2,343,809
その他役務費	2,990,939	1,995,505	995,434
使用料及び賃借料	2,535,027	2,245,859	289,168
公課費	516,250	1,108,200	△ 591,950
支払負担金	8,704,081	6,937,204	1,766,877
支払助成金	1,218,650	1,233,340	△ 14,690
事業費計	48,194,692	36,267,131	11,927,561
管理費			
給料等	16,538,152	16,220,257	317,895
職員手当	7,561,163	7,440,882	120,281
共済費	3,835,396	3,772,468	62,928
報償費	402,313	482,835	△ 80,522
旅費	452,240	519,060	△ 66,820
減価償却費	927,486	956,347	△ 28,861
食糧費	23,434	28,977	△ 5,543
その他需用費	574,101	1,166,028	△ 591,927
その他役務費	2,516,370	2,360,584	155,786
使用料及び賃借料	1,132,061	1,192,507	△ 60,446
公課費	86,000	242,200	△ 156,200
負担金	13,500	13,500	0
管理費計	34,062,216	34,395,645	△ 333,429
経常費用計	82,256,908	70,662,776	11,594,132
評価損益等調整前当期経常増減額	502,780	△ 678,481	1,181,261
当期経常増減額	502,780	△ 678,481	1,181,261
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
災害損失			
固定資産除却損	0	2	△ 2
その他の経常外費用			
過年度修正損	0	△ 57,083	57,083
経常外費用計	0	△ 57,081	57,081
当期経常外増減額	0	57,081	△ 57,081
税引前当期一般正味財産増減額	502,780	△ 621,400	1,124,180
当期一般正味財産増減額	502,780	△ 621,400	1,124,180
一般正味財産期首残高	9,752,159	10,373,559	△ 621,400
一般正味財産期末残高	10,254,939	9,752,159	502,780
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 基金増減の部			
基金受入額	0	0	0
基金返還額	0	0	0
当期基金増減額	0	0	0
基金期首残高	0	0	0
基金期末残高	0	0	0
IV 正味財産期末残高	10,254,939	9,752,159	502,780

貸借対照表

(单位: 例)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	8,112,895	11,438,237	△ 3,325,342
未収金	2,043,441	267,654	1,775,787
流動資産合計	10,156,336	11,705,891	△ 1,549,555
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	1,081,800	1,081,800	0
基金積立資産	808,868	844,330	△ 35,462
善意基金運用資産	831,553	811,189	20,364
賛助会基金運用資産	6,153,969	6,152,559	1,410
滋賀大会強化対策運用資産	1,016,557	982,666	33,891
特定資産合計	9,892,747	9,872,544	20,203
(3) その他固定資産			
車両運搬具	998,746	1,497,369	△ 498,623
什器備品	734,792	843,858	△ 109,066
機械装置	94,751	119,634	△ 24,883
ソフトウエア	192,500	0	192,500
預託金	11,570	11,570	0
その他固定資産合計	2,032,359	2,472,431	△ 440,072
固定資産合計	11,925,106	12,344,975	△ 419,869
資産合計	22,081,442	24,050,866	△ 1,969,424
II 債負の部			
1. 流動負債			
未払金	6,665,620	9,825,304	△ 3,159,684
協力者等精算未払金	1,917,210	2,090,630	△ 173,420
未払消費税等	2,146,900	243,900	1,903,000
預り金	14,973	1,057,073	△ 1,042,100
流動負債合計	10,744,703	13,216,907	△ 2,472,204
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,081,800	1,081,800	0
固定負債合計	1,081,800	1,081,800	0
負債合計	11,826,503	14,298,707	△ 2,472,204
III 正味財産の部			
1. 基金			
2. 指定正味財産			
3. 一般正味財産			
(1) 代替基金	0	0	0
(2) その他一般正味財産	10,254,939	9,752,159	502,780
一般正味財産合計	10,254,939	9,752,159	502,780
正味財産合計	10,254,939	9,752,159	502,780
負債及び正味財産合計	22,081,442	24,050,866	△ 1,969,424

【スポーツフェスタ】
6月から8月にかけて
陸上競技、ボッチャ、卓球
フライングディスクの4競
技を開催しました。

例年、そのすべてを当協会で主催しておりますが、今年度は個人競技の県大会「全国大会選考会」と団体競技の近畿予選会を併せ、5月24日・25日に「第24回全国大会リハーサル大会」として県実行委員会が開催されましたので、当協会では個人競技のスポーツフェエスタと団体競技の全国大会選考会とスポーツフェエスタを開催しました。

滋賀県では障害者の県大会として競技大会の「全国大会選考会」とスポーツを楽しむための「スポーツフェスティバル」が開催

第63回滋賀県障害者スポーツ大会(個人競技)結果

	競技名	開催日	会 場	参加 申込数	備考
スポート フェスタ	陸上競技	6月14日	平和堂HATOスタジアム	55	
	ボッチャ	7月27日	YMITアリーナ	61	
	卓球	8月9日	野洲市総合体育館	61	
	フライングディスク	8月30日	県民共済ドーム長浜	76	
スポートフェスタの部 計				253	

今年度は昨年より申し込
みが若干少なかつたものの、

「わたS H I G A輝く障ス
ポ」本番直前の空気がみな
ぎる中、各会場とも大いに
盛り上りがりました。

団体競技

【兼 全国大会選考会】および
【スポーツフェスタ】

11月15日(土)・16日(日)の2
日間に亘り、団体競技の県
大会を開催しました。

全国大会直後の興奮冷め
やらぬ中、選手たちの気迫
のこもったプレイが繰り広
げられました。

各競技の結果は次ページ
表の通りとなります。



スポーツフェスタ（フライングディスク：8月30日）

	競技名	開催日	会 場	備考
個人競技	陸上競技	5月25日	平和堂HATOスタジアム	団体競技を含む結果・ 詳細についてははた SHIGA輝く障スポリ ハーサル大会ページ でご確認下さい。
	水泳	5月25日	インプロニア草津アクアティクスセンター	
	アーチェリー	5月25日	愛荘町スポーツセンター秦荘グラウンド	
	卓球	5月25日	野洲市総合体育館	
	フライングディスク	5月25日	水口スポーツの森 陸上競技場	
	ボッチャ	5月25日	水口体育館	
	ボウリング	5月25日	ラピュタボウル彦根	
計				

県大会(団体競技)成績・結果

◎全国大会選考会

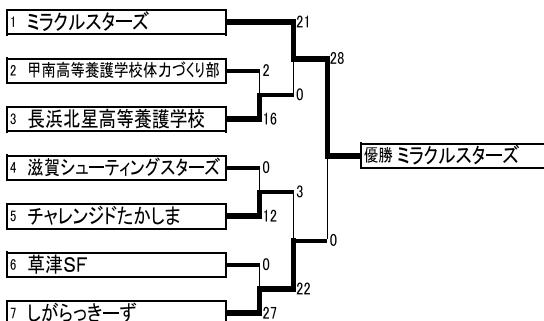
- 精神障害者バレーボール競技 11月15日(土) 県立障害者福祉センター

	イ	ロ	ハ	勝敗	順位
イホワイトラゴンズ	✗	●	●	0-2	3
ロB.O.N(びわこ.0.ナマーズ)	○	✗	●	1-1	2
ハポンポンズ	○	○	✗	2-0	1

- 知的障害者サッカー競技 11月16日(日) 野洲川歴史公園サッカー場

FC滋賀 2
FC滋賀 優勝
FCアルビエロ 1
FCアルビエロ 敗者

- 知的障害者ソフトボール競技 11月16日(日) 守山市民運動公園



◎スポーツフェスタ

- 知的障害者バスケットボール競技 11月16日(日) 守山市民体育館

(男子) 参加チーム ※8チーム 69名
①RATEL ②SO湖東A(ライジング) ③長浜北星男子
④SMILE FACE ⑤愛知高等養護学校 ⑥RATEL"B"
⑦北上津養護学校 ⑧Petru(リトライズ)

(女子) 参加チーム ※3チーム 22名
①SMILE FACE(女子) ②ラリーガールズ ③長浜北西女子
バスケットボール教室 ※参加者は試合と教室を合わせて96名

滋賀県障害者スポーツ協会 交流ボウリング大会



交流ボウリング大会（11月29日 ラピュタボウル彦根）

お蔭様で昭和56年のひわこ大会以来44年ぶりとなる、障害者スポーツの祭典を成功裏に終えることができました。さらに今年度の県大会全競技と交流大会も終え、残すところはスポーツ広場と来年度の青森大会に向けた強化事業のみとなつております。

これも偏に、当協会のパラスポーツパートナーとして、また競技団体の役員として、さらに大会運営ボランティアとして大会を支えて頂いた皆様と、選手として参加頂いた皆様のお蔭と想い、改めてお礼を申しました

いと思います。(A-Y)



表彰式の1コマ（1月11日 ピアザ淡海）

せて令和7年度会長表彰等を行いました。栄えある受賞者の皆さんは次の通りです。

（敬称略・順不同）

▼障害者スポーツ功労賞

○西村あき子（高島市）
○北沢佳代子（彦根市）
○青谷 大地（京都市）

▼障害者スポーツ奨励賞

障害を克服し、スポーツを通じて積極的な社会参加を図った者および団体。

○権田五仁（サッカー）

▼障害者スポーツ功労賞

せて令和7年度会長表彰等を行いました。栄えある受賞者の皆さんには次の通りで

▼優秀指導者賞

○中嶋拓也
○小池 博之
(バスケットボール)

法人化前の当協会役員として、協会運営および障害者スポーツ振興に貢献があつた者について「わたくしたS.H.I.G.A輝く障スポ開催にあたり感謝状を贈呈した。

▼感謝状の贈

○岡垣 絵美（栗東市）
○香月 剛（甲賀市）
○福富 義正（近江八幡市）

乾澤正和、井之口繁幸、大橋博、太田正則、岡田知子、大倉繁昌、隱岐傳次、尾中浩治、柏原秀和、片岡清

11月29日(土)、ラピュタボウル彦根において令和7年度協会交流ボウリング大会を開催しました。

心となります。しかし、競技として本格的に取り組んでいる方もあり、ストライクが連続すると、歓声が上がっていました。

編集後記

内容としてはスコアによ
る勝敗を設けていないこと
に加え、ノンガーターレー
ンの参加も可能であること
から、全くの初心者も参加
可能で、全体としては和気
あいあいとした空気の中で
ボウリングを楽しむ方が由

長らくこの日を待ちわびていた、第24回全国障害者スポーツ大会（わたSHIGA輝く障スボ）の開催を終え、振り返ってみると大会準備に明け暮れたこの数年間も